人材養成目的【研究科】

法学研究科	法学研究科は、変動する国内外の法的・政治的分野及びその交錯する分野に関して、規範と実践の両面から研究または実務を行う人材の養成を目的としています。
経営学研究科	経営学研究科は、21世紀のグローバル化社会における営利・非営利組織体の運営に係る実践的理論を追求し、問題解決能力を有する研究職・専門職人材及び高度専門職人材の養成を目的としています。
経済学研究科	経済学研究科は、経済活動の諸分野において、理論と洞察力、専門的見識と情報分析力をもつ、研究者・専門家及び高度な技能と実践的な知識を有する職業人の養成を目的とします。
理工学研究科	理工学研究科は、幅広い視野と高度な専門知識・技術を有し、創造性・国際性豊かな技術者・研究者の養成を目的としています。
数学専攻 （博士前期課程）	数学専攻は、柔軟で論理的な思考力を備えた創造性豊かな学生の養成を目指し、応用力を伴った高度な専門知識と抽象的思考能力を合わせ持つ人材を社会に送り出すことを目的としています。教職、一般企業、研究職、いずれの進路希望者に対しても、数学の研究を通して培った問題解決能力、特に問題の本質を追求する能力を社会で発揮できる人材の養成を目的としています。
情報工学専攻 （修士課程）	情報工学専攻は、情報工学技術に対する社会の多様な要請に対応できる幅広い視野と高度な専門知識・技術を有し、高度情報社会において先端的かつ独創的な情報技術の創出を担うことができる創造性・国際性豊かな技術者・研究者の養成を目的としています。
電気電子工学専攻 （博士前期課程）	電気電子工学専攻では、電気電子分野における専門知識・技術と研究・開発能力を有し、幅広い視野を持ち、修得した技術・能力を用いて社会に貢献する意欲のある技術者・研究者の育成を目的としています。
材料機能工学専攻 （修士課程）	材料機能工学専攻では、高度な知識・幅広い視野・正しい倫理観をもち新材料の開発やその応用・製造に携わる創造性・国際性を有する科学技術者として社会に貢献できる人材の養成を目的としています。
応用化学専攻 （修士課程）	応用化学専攻では、化学反応や物質の持つ性質を、分子の構造というミクロな観点で理解し、基礎に忠実な評価方法・技術により、化学現象を定量的にとらえ、物質設計にかかわる情報を発信しながら、社会や産業の発展に貢献できる人材の養成を目的とします。
機械工学専攻 （修士課程）	機械工学専攻では、国際化する社会・経済活動に順応するための素養を有し、機械工学の専門領域における知識と考え方に基づき、問題設定ならびに問題解決が可能な技術者および研究者の育成を目的としています。
交通機械工学専攻 （修士課程）	交通機械工学専攻では、「交通機械」に軸足を置いた「高度な知的ものづくり」を目標に、ハード面とソフト面の両方を重視した高度で視野の広い教育・研究を通して、創造力および応用力と人間性豊かな技術者・研究者の養成を目的としています。
メカトロニクス工学専攻 （修士課程）	メカトロニクス工学専攻では、メカトロニクス分野における高度専門技術者の育成をベースとします。ここで育成する高度なメカトロニクス工学技術者は、技術者として自立した倫理観、社会適応性、および、世界的視野を有し、物事を客観的に論理的に議論できる能力を有することを重視します。またメカトロニクスシステムとその構成要素機器機能を理解でき、あわせてメカトロニクスシステム機能の俯瞰的モデリングとその実現性を評価でき、かつ実際に応用できる人材の養成を目的とします。 より具体的には、以下の能力を修得させることを目的とします。 ①技術者として自立した倫理観と社会適応性、および世界的視野を有し、物事を客観的に、かつ論理的に議論できる能力 ②メカトロニクスとそのシステム領域における自分の専門分野に限定しない、複雑なメカトロニクスシステムに関する問題解決のための思考力と行動力 ③高度な電子機器要素システム、機械要素システム、生体・医療機器要素システムのいずれかを俯瞰的に理解でき、その代表的機器、もしくは装置システムを設計・開発できる能力 ④複雑な電子機器システム、機械システム、生体・医療機器システムのいずれかを俯瞰的に理解でき、創造的機械システムの設計に取り組める能力 ⑤先端的メカトロニクスシステム技術を駆使し、国際的に貢献できる能力
社会基盤デザイン工学専攻 （修士課程）	社会基盤デザイン工学専攻では、穏健中正で実行力に富み、安全で快適な市民生活と産業活動を支える「社会基盤整備」ならびに「国土保全」を担う、高度な専門知識を備えたシビルエンジニアの養成を目的としています。

環境創造学専攻 （修士課程）	環境創造学専攻では、人類が地球と共存していくための仕組みを考え、循環型社会の形成と推進に向け、理想的な環境を創造できる質の高い技術者・研究者の養成を目的としています。
環境創造工学専攻 （修士課程）	環境創造工学専攻は、人類が地球と共存していくための仕組みを考え、循環型社会の形成と推進に向け、理想的な環境を創造し、わが国が目指す「持続可能な経済社会システムの構築」に貢献するため、「エネルギー・資源循環」、「環境共生」、「人間活動環境」の観点から、新しい学問分野として下記の 5 つの柱からなる「環境創造工学」を掲げ、これらを柱とした基本教育を行い、環境に携わる質の高い技術者・研究者の養成を目指します。 ①環境に配慮した生活態度と環境問題を発生させない心構えに基づいて、研究テーマを自ら設定できる。（環境の心） ②エネルギー・資源の有効利用のための研究や技術開発を推進する。（エネルギー・資源問題の解決） ③良好な環境の保全と悪化した環境の復元・改善のための研究や技術開発を推進する。（環境の保全と復元・改善） ④自然との調和を図ることができる新しい仕組みを考案する。（自然との共生） ⑤新しい環境システムを技術的および社会的な観点から創出する。（環境創造）
建築学専攻 （修士課程）	建築学専攻では、広い視野と高度な専門知識・技術で総合的に事象を見分ける目を持ち、社会情勢の変化や技術の進歩に対応できる柔軟な思考能力および判断力を有し、さらに、知識や技術に偏ることなく、自ら文化や芸術にも造詣を深め、工学性と芸術性を併せ持つ優れた生活環境や文化的環境の創造に貢献できる国際性豊かな技術者、建築家および研究者の養成を目的としています。
数学専攻 （博士後期課程）	数学専攻の専門分野において、柔軟で論理的な思考力を備えた創造性と国際性をもち、高度な研究能力とその基礎となる豊かな学識を有し、物事の本質を追求するとともに自ら問題設定ができ、解決能力を有する研究者・教育者・技術者の養成を目的としています。
機械工学専攻 （博士後期課程）	機械工学が関わる専門領域と各種境界領域において、自ら本質的課題を見出すとともに、それらの課題を工学的に解決して社会に貢献できる能力、すなわち、専門分野における先端的知識と高度な設計能力、創造的プロジェクトの企画力とマネジメント能力、関係者と十分なコミュニケーションをとりプレゼンテーションできる能力、ならびに国際的な視野と倫理感覚を備えた技術者・研究者の養成を目的としています。
電気・情報・材料・物質工学専攻 （博士後期課程）	電気電子工学、情報工学、材料工学、物質工学のいずれかの分野において、幅広い視野と国際性豊かな人間性と、高度な専門知識・技術を有し、自ら問題を設定して、それを解決していく能力を有する研究者・技術者の養成を目的としています。
社会環境デザイン工学専攻 （博士課程）	人々が安全でより豊かに、快適な社会生活を営むための活動空間と居住空間の構築を、自然環境との調和や防災への配慮を図りながら、計画、デザイン、設計、施工、管理するための高度な技術を学ぶ場を提供し、それによって幅広い視野と国際性豊かな人間性と、高度な専門的・技術を有し、自ら問題を設定して、それを解決していく能力を有する研究者、技術者の養成を目的としています。
農学研究科	農学研究科は、生命科学、食料・健康科学、環境科学における高度な専門知識と洞察力を有し、専門領域や関連学術領域における総合的な応用力、創造力及び実践力を備えた専門技術者及び研究者の養成を目的とします。
薬学研究科	薬学研究科は、薬学領域における学術高度化に貢献でき、国民の健康維持・増進と医療の発展をより一層推進できる独創的で創造的な高い研究力、新しい職能を開拓できる高度な専門性と技術・指導力を兼ね備えた薬学のスペシャリストの養成を目的としています。
都市情報学研究科	都市情報学研究科は、サービスサイエンスの観点から、新しい時代の理想的な都市社会を創造する専門職人材及びまちづくりをあらゆる面でリードする学問領域を修得した研究者の養成を目的としています。
人間学研究科	人間学研究科は、人間に関するテーマを探究・展開できる研究能力とともに、総合的で柔軟な判断力、多元的・複雑化した社会で求められるコミュニケーション能力、高い公共性と倫理性を備えた人材の養成を目的としています。
総合学術研究科	総合学術研究科は、自然と人間、環境問題と科学技術のあり方に関する学際的研究を通じて、高度専門職業人と優れた研究者の養成を目的としています。